

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第138号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2014年5月号

【 今月のコンテンツ 】



- 神奈川イグレンご案内 1
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 ・ご案内 1、2、3、4、5
- 税理士法人 With you 【 連載2 】 代表社員 出田 敏子 6
- 葉の美彩 (くすりのみどり) 【 連載8 】 代表 小磯 清子 氏 7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

■ 神奈川県国際特区政策の新たな取り組み

5月30日（金）午前10時～12時、神奈川中小企業センター6階大研修室にて「新事業・新技術フォーラム」と「中小企業・地域経済活性化研究会」合同で国際特区関連の政策勉強会が行われます。詳しくは神奈川県異業種連携協議会 専務理事 芝まで。

■ 総会のご案内・・・ 7月9日（水）総会を行います。11時より理事会。詳細は来月ご案内

■ イグレン事務所移転案内

以前お知らせしましたようにイグレン事務所が現在の2階より6階へと6月以降移転致します。電話番号などの変更はございません。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

川崎異業種研究会 (川異研)

平成26年度通常総会を5月8日川崎商工会議所で開催、平成25年度事業報告並びに収支報告、平成26年度事業計画案並びに収支予算案を審議承認しました。役員は引き続き原 務(太協商事代表取締役)会長らを選出しました。記念講演は、元サッカー選手の大儀見浩介氏がスポーツ科学の立場から人の育て方、心の持ち方など大変有意義なお話をされました。事業計画ではタイ視察など意欲的なプランを計画しています。懇親会では山田商工会議所 会頭が挨拶、当イグレンの金究議長らが紹介されました。



滝澤 清

インターモールド2014 航空機部品製造技術フェアに出展しました

<入場者数 46,469 人>

4月16日～19日の4日間 インテクス大阪でインターモールド2014が開催され会員企業10社が製品展示を行いました。展示はまんてんの活動を中心に会員企業の技術の紹介は説明員を配置したことから活発な商談が行われた。また、JAICAを通じてフランスでの展示会への出展要請がインド、中近東からのコンタクトもあり有益な展示会であった。

まんてんと同様な活動をしているOWO(大阪の次世代航空機部品供給ネットワーク On the Wings of Osaka)。と意見交換の機会があり、旧来の友好を確認し、今年から相互に会員登録をし情報交換をすすめることになりました。



福島市で航空宇宙をテーマにイベントが開かれました

4月26日(土)に福島市のコラッセふくしま、航空宇宙のセミナーが開催されました。本企画は福島の会員企業が主体になり開催されたもので、東大中須賀教授による小型衛星の有用性を、まんてんからは、会長(滝澤)が航空機産業の展望と参入、愛専務がまんてん企業の技術の紹介を行いました。また、慶應大学有志の宇宙エレベータ(まんてん企業が製作支援)の公開試験が行われるなど大変盛り上がったイベントでした。



福島市が用意したポスター

4階までの吹き抜けを利用したクライマ公開実験、女子高生が目につきました。

ものづくり補助金を、会員企業2社が獲得しました。嬉しい!

1. 日時：2014年5月30日(金) 午後 4時00分～5時15分 協議会 ～6時15分交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会） TEL：045-228-7331
3. 「神奈川県異業種連携協議会の歴史について」 専務理事 芝 忠氏

<特別 講演>神奈川県異業種連携協議会 議長 山勝電子工業(株) 代表取締役 金究武正氏(かなくつ)
タイトル：「日韓ビジネスおよび最近の新製品について」

要旨：プリント基板を中心に韓国企業と永年の取引の実績があり、また最近開発した自社製品、直管形LED照明器の説明などについて 説明予定。(かながわ産業Navi 大賞受賞)

【C&Sグループ】

C&S会長 松井利夫

2014版「中小企業白書」から読み取れる中小企業政策の転換

先日、「日刊工業新聞」に大きく「主役は小規模事業者」だ、と大きな見出しの記事があった。その記事は、4月25日に2014年版「中小企業白書」が閣議決定されて公表されたことを知らせる記事であって、白書の特徴を端的に表現したものであった。

今年度の「中小企業白書」の一番の特徴は、小規模事業者に光が当てられたことである。今まで、「中小企業」と一括りされていた385万者の中小企業者の内の87%を占める334万者の小規模事業者に光が当てられるようになった背景には、少子高齢化が進む中で活力をなくして成長が遂げられない日本経済の厳しい現実が見て取れる。

小規模事業者を重視した施策強化の潮流はこの3年ほど顕著である。民主党政権下の2012年に、地方の小規模事業者の声に耳を傾ける「小さな企業未来会議」が全国で開催され、そこで挙げた要望や支援ニーズが施策に反映するようになった。経済産業省では、小規模事業者への支援を盛り込んだ「小規模企業振興基本法案」を今国会で成立させようとしている。今回の白書は法案の意義をデータや分析を通じて裏付ける内容になっている。

中小企業支援策は、戦後、すべての中小企業を等しく底上げをすることに重きを置いて進められてきたが、1999年(平成11年)の中小企業基本法の改正以降は成長の可能性がある中小企業だけを重点的に支援する方向へと転換した。しかし、昨今は「成長志向のある中小企業を、より強くするための施策だけではもはや立ちゆかなくなっている」ために、再び政策転換をせざるを得ない状況に立ち至っている。

白書の注目点は、小規模事業者を深掘りしその可能性について分析していることである。その一つの方法として、小規模事業者を成長志向や事業段階に応じて類型化することを試みている。小規模事業者の81%は需要を地域内に見いだす「地域需要志向型」、19%は地域外を市場とする「広域需要志向型」と定義し、さらにそれぞれの従業員規模など組織の成熟度によって5段階に分類している。アンケート調査によると組織形態に基づく類型化では、77%を占める「維持・充実型」(同じステージで事業の持続的な発展を目指す小規模事業者)と18%の「成長型」(組織面で上のステージを目指す小規模事業者)に分かれる。事業形態や成長志向が異なれば直面する課題や必要とする経営資源も異なる。そこで有効と見られる支援策についても詳細に分析している。

中小企業庁では、「白書には経営のヒントになる事例等が掲載されているので、是非、多くの事業経営者に読んで貰いたい」と話している。特に小規模事業者への支援が多くなるこの機会を逃さず経営改善を図ることをお勧めする。C&Sではあらゆる相談をお受けするので気軽に利用して頂くことを願っている。

永年、本サロンの事務局を担当し、皆様と交流を深めておられた八幡敬和さんが、2月14日に急逝しました。今回、私、芝が暫定的に事務局を担当させていただきます。開催日は5月21日(水)午後6時～8時まで。神奈川新聞横須賀支社5階会議室です。話題提供者は、横須賀で30年、建築設計をおやりになっている(有)中央設計代表取締役田中忠夫さんです。演題は「自然と命の共生を考えた建築とは」(仮題)です。

参加費用は1000円。缶ビールと簡単なつまみで大いにディスカッションしようということです。奮ってご参加下さい。また討論の中から「三浦半島らしい新たな事業化プロジェクト」の芽を探していきます。

連絡先 神奈川県異業種連携協議会事務局芝忠 045-228-7331(FAX 兼用)
なお、鶴野省三・雑賀政徳・永瀬英次郎・小磯清子・堀込孝繁・千葉智・滝澤清・福田祐二の各氏の協力者にご連絡いただいても結構です。

参加の有無について本メールにご返事をいただけると嬉しいです。

shiba.tadashi@gmail.com ケイタイ 090-4222-5746

【 経営者・人事ご担当者様向けセミナーのご案内 】

『人材不足における労働力の確保』及び『これからの雇用創造について』

- ◇日程：2014年5月23日(金) 15:00～17:00
- ◇場所：川崎市教育文化会館大会議室 神奈川県川崎市川崎区富士見 2-1-3
- ◇参加費：無料
- ◇定員：先着 150名 <特別来賓> 福田紀彦 川崎市長

下記アドレスよりお申込頂くか、FAXにてお申し付けください。

※アイエスエフネットセミナー申込み URL

<http://www.isfnet.co.jp/seminar/2014/0523kawasaki.html>

【神奈川県政策局総務室よりのお知らせ】

政策局総務室では、企業連携の一環として、企業の皆様にとって有益な県政情報等を集約し、メールマガジンの形で発信（現在約460件）しておりますが、さらに広く県内企業の方に周知を図りたいので、紹介記事の掲載にご協力をお願いします。

★メールマガジンに掲載してほしい「かながわビジネス情報便」紹介記事内容

★企業向け県政情報をまとめてお届け！かながわビジネス情報便

県は企業のみなさまと連携して、明日の神奈川をよりよくしていきたいと考えております。その一環として毎月1回、県の企業向け情報を取りまとめたメールマガジンをお届けします。

企業のみなさまと県が、W i n - W i n の関係でお互いを高めていけますよう、当メールマガジンを積極的に活用して、ぜひ御社のビジネスにお役立てください。

→お申し込みは、こちらから

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f500371/>

<問い合わせ先> : 政策局総務室 企業連携担当課長
野田 電話 : 045-210-3015
企画調整第三グループ 加藤 電話 : 045-210-30

「かながわビジネス情報便」について
・月1回、初日に発行

内 容

- ・コラム
- ・県各局の事業紹介
- ・お知らせ◎トピックス
- ・県内企業のCSR取組事例

【 神奈川イグレン 】

芝 忠

<新潟グループが神奈川訪問>

4月10日、新潟県産業人クラブのメンバー11人が金宥議長の案内で、神奈川産業人クラブと交流、山勝電子工業(株)が横浜市日吉に新設した横浜工場と、同じく中山にある宝電機工業(株)本社工場を見学しました。産業人クラブは日刊工業新聞社が全国に展開している異業種経済人交流会の一つで、神奈川は、長らくアマダ(株)社長が会長をやられましたが、最近、三木プーリ(株)三木治一社長へと交代、中華街で双方26名がなごやかに懇談しました。

私(芝)も、議長の依頼で、宝電機工業さんを紹介した関係で参加させていただきました。新潟は、以前から親交のあった「先端技術研究会」のメンバーも参加しており、事務局が日刊工業新聞新潟支局と兼ねております。4年前、関東学院大学学生の中小企業見学会で大変世話になったところですが、円高から円安へと移った局面でも、LED技術で新たなチャレンジしている山勝電子工業や、ATMや高速道路の遮断機などの開発を手掛け、しっかりとした経営をしている宝電機工業さんの事業や生産現場を見て、新潟のメンバーも大変喜んでいました。

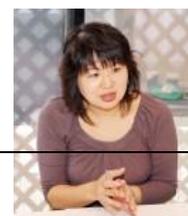
<イグレンが行政との連携を模索して県庁を訪問>

産学連携や民間企業との連携を図ろうと新組織を立ち上げた県庁の関連部局をイグレン事務局事務局(芝・愛)が訪問しました。5月1日、イグレン会員である総務局調整監林秀明氏の紹介で政策局政策研究担当局長兼政策研究・大学連携センター所長の竹本治氏、同科学技術・大学連携課長早川剛弘氏。竹本氏はもと日銀出身で黒岩知事が招聘された方で、私どもの活動を熱心に聞いていただきました。翌2日は「産学連携」のテーマで、横須賀市の経済企画係長杉山裕二氏、横須賀市産業振興財団事務局長堀込孝繁氏と、林さんと当方事務局(芝・愛)が会談。これに先だって4月24日にイグレン30周年記念事業で産業労働局長蛭名喜代作氏、国際特区の講演依頼で、ヘルスケア・ニューフロンティア推進局事業統括部長山口健太郎氏、同特区連携担当課長今部一良氏、同特区連携グループリー杉山力也氏。5月12日に政策局に新設された企業連携担当課長野田久義氏を訪問。いずれも今後も引き続き連携していく方向性を確認しました。

税理士法人 With you

税理士・産業カウンセラー・FP・
キャリアデベロップカウンセラー

代表社員 出田 敏子



〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡2-4 YSビル3F

電話：045-312-6724 FAX：045-412-6734

<http://www.tknf.com/ideta/pc/>

【 連載 2 】

今年のゴールデンウィークは、いかが過ごされましたか・・・

五月晴れの日が続き、風も気持ちよく吹いております。今が一年でもっとも快適な季節ではないでしょうか。

毎日、自社で記帳するのはなぜ？

会社を設立後、何期も経て仕事が忙しくなってきた、記帳がだんだん遅れがちになってきている会社様が時々いらっしゃいます。そこで、私たちが常日頃から痛感している記帳の必要性についてお話しします。

まず第一に、記帳（入力）が遅れると漏れや間違いが起りやすくなります。また基調をタイムリーに行うことにより最新の業績が素早く把握でき、売上や利益の増加に役立つうえ、何か問題がおこってもすぐに手を打つことができます。そのために毎日の地道な記帳が大切なのです。

さらに、きちんと記帳処理をし、月次決算を行うことによって以下の事がわかります。

- ・ 売上の計上漏れの発見や仕入価格の変動経費の増加など
 - ・ 直近の売上や利益
 - ・ 現金、預金、売掛金などの資産や借入金など負債の状況
 - ・ 予算と実際の数値を比較することで、経営課題を早期に発見し、対策を立てることができる。
- また、融資を受ける際にも毎月きちんと記帳をしているとより早く対応することができます。

融資について・・・

中小企業の資金繰りのための公的な融資制度にはいろいろあります。

資金不足が予測される場合、中小企業・小規模事業者が利用できる、国による低利あるいは無担保・無保証人の融資制度がいろいろあります。これらの利用は検討の価値がありますが、あくまでも借入れですので、利息とともに返済しなければなりません。慎重に検討する必要があります。

以下に、国が行う公的な融資制度の一部をご紹介します。

- ・ 資金繰り難の際に受けられる融資制度・・・経営環境変化対応資金（セーフティネット貸付）
業況が悪化し資金繰りに困難を来している場合などに、低利の融資が受けられる制度です。利用できるのは、社会的、経済的環境変化等により、一時的に業況等が悪化している事業者です。例えば次の事業者が利用できません。
最近の決算期における売上高が前期または前々期に比べて5%以上減少している事業者など。
同制度の中小企業事業の貸付内容は以下のとおりです。

資金の使いみち	企業維持上緊急に必要な設備資金及び経営基盤強化のために必要な長期運転資金	
融資限度額	7億2,000万円	
融資利率	基準利率（長期運転資金に限り、上限3%） ※長期運転資金に限り、一定の要件に該当すれば金利が引き下げられる。	
返済期間	運転資金：8年以内（うち据置期間3年以内）	設備資金：15年以内（うち据置期間3年以内）
保証人・担保	担保設定の有無、担保の種類等については、相談の上決定。	

他にも対応できる融資制度等につきましては、税理士など専門家に相談されるとよろしいかと思います。

葉の美彩（くすりのみどり） 小磯 清子 【 連載8 】

ホームページ <http://k-midori.jp/>
ブログ <http://blog.k-midori.jp/>



『アンチエイジングと男性ホルモンについて②』

今回は「男性ホルモンを増やすポイントについて」です。 **男性ホルモンを増やすポイント。。**

その① 『週1~2回はしっかり肉を食べよう』

肉類、卵、牛乳、魚介などは男性ホルモンを増やします。これらは、人体で作られない9種類のアミノ酸(必須アミノ酸)のバランスをみる「アミノ酸スコア」もパーフェクト(100)か、それに近い食品です。

週1~2回は肉料理を適量食べましょう。また、ビタミンC・E、ポリフェノール類など、活性酸素を除去する抗酸化物質が多く含まれる食品も意識して摂りましょう。

亜鉛も効果的で、カキのほか他、白菜やキャベツなどに多く含まれています。その他「アミノ酸スコア」が高い食品、牛ロース・鶏むね肉・鶏レバー・全卵生・牛乳・あじ(生)・さけ(生)・木綿豆腐等々

玉ねぎ、にんにく、にら、長ネギ等に含まれるアリシンは男性ホルモンをふやします。これらと豚肉が入っている餃子はおすすめの食品です。

その② 『息が切れるほどの有酸素運動を30分、週1回のペースで』

男性ホルモンをふやすいちばんの方法は運動です。運動をするとEDが改善するというデータもあります。週1回でよいので、息が切れるぐらいの強めの有酸素運動を30分続けましょう。

例として、ジョギングや水泳などがあげられます。運動習慣のない人は、まずウォーキングから始めましょう。

アップダウンのある道を歩くハイキングは、レクリエーションにもなるよい運動です。

筋力トレーニングも必要です。筋肉はエネルギーを消費するので、トレーニングで筋肉がふえると脂肪が減ってきます。「筋肉量×運動した時間」が「男性ホルモンの産生量」に比例するともいわれています。家でもできるスクワットや背筋運動が良いでしょう。

<有酸素運動の例> ……ジョギング、水泳、エアロビクスなど

<筋力トレーニングの例> ……スクワット、ダンベル体操など

その③ 『よい睡眠を第一に、リラクゼーションの時間を持とう!』

男性ホルモンを保つには、良い眠りが非常に重要です。睡眠中は、体は休んでいるけれど脳は覚醒に近い状態にあるレム睡眠と、からだも脳も休息しているノンレム睡眠が周期的に繰り返されています。

男性は、一晩に3~4回あるレム睡眠中に勃起しますが、これは心身をリラックスモードにする副交感神経が優位でなければおこりません。人は年を重ねるにつれて、心身を緊張状態にする交感神経の働きが強くなりやすいので、副交感神経の働きを高めるためにも、リズムカルな眠りを得ることが大切です。

睡眠中以外でも、心身がリラックスして副交感神経が働くと男性ホルモンが増えます。意識して心地良いと思えることをしましょう。

<こんなリラックス方法もあります>

- ・ゆったり入浴する。 ・マッサージを受ける。 ・ヨガをする。 ・ゆったりした音楽を聴く。
- ・日中、眠いときは差支えない範囲でうたた寝をする。

(以上、ヘルス&ライフ2012.9より)

是非参考にして男性ホルモンを増やしアンチエイジングにお役立てください。

	尾上町サロン	西湘サロン 第 50 回	三浦半島経済人サロン 第 62 回	神奈川新産学公交流 第 61 回 サロン横浜
日程	05 月 16 日 (金) 17:15~19:00	05 月 19 日 (月) 18:00~20:00 開場は 17:30~	05 月 21 日 (水) 18:00~20:30 開場は 17:30~	06 月 18 日 (水) 18:00~19:00 開場は 17:30~
場所	神奈川中小企業センタービル 2F イグレン事務室	日本生命小田原ビル 4 階会議室 小田原市本町 1-4-5	神奈川新聞社 横須賀支社 5 階会議室 横須賀市小川町 21-9	神奈川県中小企業センター 6 階 大研修室
連絡先	イグレン (芝)	イグレン (島津、吉池、)	イグレン (芝、鶴野、小磯、 村田、雑賀)	(織方、篠原、坂本、 杉本)
内 容	参加費 : 1,100 円	「原発問題を“科学する心”から説く」 アイコンテクノ株式会社 会長 金子和夫氏 参加費:1,100 円	「自然と命の共生を考えた建築とは」(仮題) (有)中央設計 田中 忠夫 氏 参加費:1,100 円	調整中 参加費 : 1,100 円

5月に入るとあちらこちらで鯉のぼりが上がっていた子供の頃。今では青空にたなびく姿を見かける事さえ少なくなってきました。私達日本人が古くから継承してきた文化も時代の変化と共に失われつつあります。伝統を継承する事がいかに難しいかという事が分かります。大切に守り続けるのか新しい一歩を踏み出すのか企業にとっては難しいところです。特に人ありきの製造業の場合は伝承という問題も課題ですね。

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。

とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、 Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください (無料)

[新人事] 事務局長：宮川豊、事務局次長：愛賢司。芝：総括事務局長を廃止し専務理事専任とする。会計についてはイグレン会員の川田優美子氏が就任。

【月】 ①③④荒 直孝 ②⑤宮川 豊【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地 ②③④⑤杉本 明子

【木】①②指方 順一郎①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②村田和彦③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 2 階 (6 月から→7 階) 神奈川イグレン事務局
T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com